

在学生の声

在学生に大学生活についてインタビューしました。

令和2年度作成記事

- ① このコースを志望した理由
- ② このコースの魅力
- ③ 将来どうなりたいか
- ④ 受験生へのメッセージ



上田 航さん
社会基盤工学コース

自分の興味を大事に、視野を広げよう。

- ① 父の影響もあり、将来はダムや橋といった社会基盤に土木工学の分野で携わりたいと思い、本コースに進学しました。私の地元は愛媛です。土木は地元の環境に密接に関わるので、本校に進学したことにも意義があったと思います。
- ② それまで見過ごしていましたが、川の護岸のコンクリート一つとっても、土壌や流量などすべてが計算され、技術があつてこそ。そんな技術を基礎から学べる魅力があります。学ぶ分野は水理学や構造力学、生態系など多岐に渡り難しいですが、視野を広げられることも魅力的です。
- ③ 今は、都市化が高まると川に住む生物にどう影響するかを研究中です。将来は、これを生かしたコンサルタントとして活躍したいです。
- ④ 受験時は、偏差値から進学先の分野を考えてしまいがちですが、自分のやりたい分野、自分の合っている分野を目指してほしいです。大学生活では、留学、サークルやバイトなど課外活動も思いっきり満喫してください。すべてが経験となり、自分の興味に気づくきっかけにつながります。

上甲 舞花さん

社会デザインコース

幅広い学びの中に、なりたい自分との出会いがあるかも。

- ① 本コースは文系の学生でも受験することができます。そのため、文系理系の枠にとらわれず、幅広い知識を得ることができるのではないかと考え、志望しました。
- ② 本コースでは社会環境を基本として、まちづくりや生態学、構造力学など様々な種類の知識をつけることができます。また、授業で現場見学として、同じ学科の仲間とともにダムや橋梁などに足を運ぶことがあります。今学んでいることが何に活用されるか具体的に想像できるようになるため、勉学へのモチベーションの向上につながります。
- ③ 大学院への進学が決まっています。大学院ではより専門的な知識・技能を身に付け、その後はそれらを活かし、社会に貢献できる職につきたいと考えています。
- ④ 将来何がしたいか明確に定まっていなくても、本コースでは幅広く学ぶことができるので自分の興味がある分野を発見することができるかもしれません。自分を信じて、受験勉強に取り組んでください！

